

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第 1,275 号	氏 名	鬼丸 康之
論 文 審 査 担 当 者		主査教授	小路 武彦
		副査教授	兼松 隆之
		副査教授	松山 俊文
論文審査の結果の要旨 学位論文題名 「Autocrine and/or paracrine growth of aggressive ATLL cells caused by HGF and c-Met」 1 研究目的の評価 本研究は、成人 T 細胞白血病リンパ腫(ATLL)の多段階発癌へのチロシンキナーゼ型受容体 c-Met とそのリガンドである HGF 発現の関与を検討したもので、研究目的として妥当である。 2 研究手法に関する評価 急性型 ATLL、慢性型 ATLL 及び健常人から得られた新鮮末梢血単核球並びに IL-2 非依存型と依存型の ATLL 細胞株を用いて、その c-Met 発現はフローサイトメリーで検討し、HGF の産生量は ELISA 法で検討している。更に、急性型 ATLL の剖検肝組織でも c-Met 及び HGF の発現を免疫組織化学的に検討しており、研究手法も妥当である。 3 解析・考察の評価 以上の検討の結果、急性型 ATLL 細胞では有意に c-Met 発現が認められ、また ATLL 細胞株と同様に HGF による増殖誘導効果が見られた点、また更に剖検肝組織に浸潤した ATLL 細胞と間質細胞との間の autocrine/paracrine 作用の可能性が示された点、研究結果と考察内容は高く評価できる。 以上のように、本論文は ATLL 細胞の細胞動態制御機構の解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			